美食と人生

北大路魯山人

青空文庫

今さら事新しく問題にするのも、チトおかしいようだが、料理も考え方によっては、こんなことが言えるかも知れない。

「お惣菜料理」とは手の込む工夫を一切排除して、その上、なるべく安易に入手できる安価な食品材料を選び、口に充分なよろこびを与え、栄養という流行語にも当てはまるよう考慮して拵えるのが、今の人のお惣菜料理である。

これとは全く世界を別にし、多くの庶民にはなんの関係もないようなものが高級料理と言うもので、いわゆる料理屋の料理である。この世界では、もとより手の込む工夫を少しも意とせず、材料の高い安いも問題とせず、原料を美化して、まず眼から楽しませ、耳を鼻を口をと、人の心を和やかにする。もちろん、これにも段階があって、一人分千円以上一万円くらいの差がある。しかし、ただ高いのではない。高いのにも安いのにも、それぞれわけがあって、見る者に理解さえあれば、その理由は得心の行くものである。値は値だけのものとは、昔からよく人の言う通りである。世間で許されている高価な上等食は、貧しき生活を離脱して富者の群に入り、食の自由を求めるほかにぶつかる法はない。

しかし、不味いというものも慣れてみると、存外な美味を発見することもあり、高級上等食も食い慣れない者の口には、その至味、容易に感じ取れるものではない。人おのおの与えられた運命がつくってくれるところの料理に満足し、みだりに分を越えた他の世界を羨望するものではない。こうなれば、万人が万人みな美食家であり得るはずである。

元来、人の日常には相当間違いがあって、人目に触れる衣類の如きは必要以上に装飾し、分際を越え、楽しみと苦しみを混乱させているが、食物には冷淡で、食の世界は顔色を失っている。

衣食住のうちの食でたちまち無能を疑われ、豚のように、なんでも与えられたものをもって満足し、生涯を終る如きは、いささか外聞が悪い。幸いなことに日本料理は幾千幾百と材料に恵まれている。いわゆる山海の珍味が豊かなことも世界一のように私には考えられる。このような国にあって、食道楽を極めない者ありとするなら、文化人だの自由だのと言う資格は怪しくなってくる。正しい食道楽は答えとして、なにを生むかを知るべきであろう。口に美味さを感ずる刹那の楽しみだけが、食道楽と断ずるのは早計である。

ぜいたくだの、もったいないなど、昔の京都の家庭人のようなのは、一旦病を得ては、名医といえども投薬のしようがなさそうである。中国人なども存外体格を具えているのは、食物に対する関心の深いことで、下層料理も上層料理も、ともに進んでいるのは、そのためと言えよう。

日本の食器には及ぶべくもないが、中国は宋代より明末までは食器の発展が大したものであった。目下は食物も料理も食器も、日本と同じように堕落してしまい、よく恥ずかしげもなく平ちゃらで、バカな真似してられるものだと思われてならない。自分たちの過去にはどんな食器を生み、どんな料理をどう盛ったかなど、考えて見る者もないのが、中国料理、日本料理の現状である。食器をつくる者、食の雅俗を知らず、料理する者、食器の可不可を弁えず、これでは料理と食器のコンビは失われ、犬猫同然で、甚だ残念である。

要するに、与えられたる人生を美しく強く自由に生き抜かんとするには、この際、食物のみを挙げて言うならば、美味いものばかり

を食い、好きなものばかりを食い、三度三度の食事に快哉を叫び続けることだ。ついでに食器の美も知って、つまらない食器では飯は食わぬというだけの識見を持ち、深く有意義に終るべきだ。食道楽も生やさしいものではない。とにかく、かつての日本の衣食住は、すべて立派であった。国外に遠慮するものあったら、それは間違いだ。

（昭和二十九年）

青空文庫情報

底本：「魯山人味道」中公文庫、中央公論社
1980（昭和55）年4月10日初版発行
1995（平成7）年6月18日改版発行
2008（平成20）年5月15日改版14刷発行
入力：門田裕志
校正：仙酔ゑびす
2013年5月14日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

美食と人生

北大路魯山人

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/